

平成29年度授業改善推進プラン【国語】

〔教科の観点〕

- ① 国語への関心・意欲・態度 ② 話す・聞く能力 ③ 書く能力
④ 読む能力 ⑤ 言語についての知識・理解

教科	生徒の実態と分析	指導上の課題	授業改善の視点と方策
1年	<p>授業アンケートでは、全ての項目において肯定的回答が90%を超えている。特に「授業内容が分かりやすい」については「あてはまる」が80パーセントを超えており、授業中の発言も多く、ほとんどの生徒が課題に真剣に取り組んでいる。</p> <p>中学校の国語の授業としていいスタートを切れたと考えられる。</p>	<p>○板書を写す速度が極端に遅く、文字が雑、又は不正確な生徒がいる。基本的な漢字力・語彙力において個人差が大きい。</p> <p>○説明文の内容についての意見など、読み取ること自体が苦手なことも影響し、自分なりの考えをもてない生徒がいる。</p>	<p>○簡潔な板書を工夫する。漢字学習を毎時間行う。字が雑な生徒には個別に指導する。</p> <p>○生徒がじっくりと考える時間をとり、互いの考えを交流できるような発問を練る。</p>
2年	<p>授業アンケートでは、全ての項目において肯定的回答が90%を超えている。特に「授業内容が分かりやすい」については「あてはまる」が80パーセントを超えており、授業中の発言も多く、ほとんどの生徒が課題に真剣に取り組んでいる。</p> <p>昨年度の授業の良好な雰囲気を持続できていると考えられるが、じっくり考え、互いの考えを交流する時間がやや少なかった感がある。</p>	<p>○授業内容によって、興味が持てず、自分で考えようとする生徒が見られる。</p> <p>○生徒が互いの考えを交流する機会を与えられなかった。</p> <p>○ノートを整理するのが苦手で、提出できない生徒がいる。</p>	<p>○授業の展開や発問を工夫し、生徒の興味を引く授業作りを目指す。</p> <p>○生徒がじっくりと考える時間をとり、互いの考えを交流できるような発問を練る。</p> <p>○ノート提出の評価結果をわかりやすく伝え、意欲を喚起する。</p>
3年	<p>授業アンケートでは、「ねらいがはっきり示されている」「集中し、意欲的に取り組んでいる」「友達と考えを交流する時間がある」について、「あてはまる」又は「やや当てはまる」と答えた生徒が90%を超えた。特に「ねらい」については「当てはまらない」と答えた生徒が0%で、多くの生徒が毎時間の授業の目標を理解し、授業に臨んでいたと考えられる。一方、「進め方の速さはちょうどよい」について「あてはまる」と答えた生徒は70%に止まっており、時間の配分に工夫を要する。</p>	<p>○説明的文章の読解や意見文の作成に苦手意識をもつ生徒が多く、自力で解こうとせず模範解答を待つ雰囲気がある。</p> <p>○授業開始時に教科書・ノート・筆記用具を整わせるのが不徹底だった。</p> <p>○課題の提出が不十分な生徒がいる。</p> <p>○書く活動に前向きでない生徒がいる。</p>	<p>○教科書の内容を基に意見文を書く作業を單元ごとに取り入れる。</p> <p>○授業開始5分前には教室に行き、休み時間に予習に取り組んでいる生徒をほめるなどし、学習規律を守る雰囲気づくりをする。</p> <p>○放課後の時間などを使って苦手な生徒には個別指導をする。</p> <p>○單元ごとに書く活動を取り入れ、演習を多く行う。</p>